

写

受村
第 / 号
5.8.17
宮代町議会

杉戸町・宮代町の合併の是非を問う
アンケートの実施を求める請願書

宮代町

宮代町

紹介議員

小河原正



1 件名 杉戸町・宮代町の合併の是非を問う
アンケートの実施を求める請願書について

2 趣旨

2025年、団塊の世代が後期高齢者に移行します。2040年、第2次ベビーブーム世代は高齢者に移り働く世代の人口減少が進みます。第3次ベビーブームはなく、人口は減少を続け、住民税も減少し単独行政は行き詰まるでしょう。

現世代と次の世代の住民のために、最適な方針決めるのが行政の役割です。

3 理由

宮代町では過去2回「合併に関する意識調査」を実施しました。2回とも「合併は望ましい」という割合が過半数を超えています。

新型コロナウイルス感染の影響もあり出生数は過去最低、人口減少は加速しています。このような中、小さな町のまま行政を進めていることが正しい行政姿勢とは思えません。しかしながら、現町長は「合併の必要性を感じない」との発言を繰り返しています。方針転換するならば、町は再度「合併に関する意識調査」を実施し、住民の意識を確認する必要があります。

財政的に問題がないなら、合併する必要はないと思われます。宮代町のような小さい自治体であっても、議会、教育委員会といった必要機関が要るので、経費面で効率が悪いといえます。言い換えれば、合併後はそれぞれひとつずつお金をかけていたことが、まとめてひとつにできます。

合併を進めようとしない新井町長に、行財政改革を率先して推進する責任と義務があることを踏まえて、今年度内に補正予算を組み「杉戸町・宮代町の合併の是非を問うアンケートの実施」を求めます。

地方自治法第124条の規定により、上記のとおり請願書を提出します。

2023年(令和5年)8月17日

宮代町議会議長 合川泰治殿